

平成30年度補正予算に向けた新規事業採択時評価結果一覧

【その他施設費】

【船舶建造事業】

事業名 事業主体	総事業費 (億円)	供用後の 維持管理費 (億円)	評価	担当課 (担当課長名)
小型巡視艇 (CL型) 5隻建造 海上保安庁	25	12	整備しようとする小型巡視艇 (CL型) は、海上保安業務の遂行に必要な運動性能、監視探証能力等を有していることから、港及び周辺海域における治安の確保、海難救助等の事案対応体制の強化を図ることができる。	海上保安庁 装備技術部船舶課 (課長 矢頭 康彦)

・ 供用後の維持管理費は耐用年数にかかる費用を現在価値化したものである。

○政府予算案の閣議決定時に個別箇所です予算措置が公表された事業等 (平成30年8月に評価結果を公表済みの事業を再掲)

事業名 事業主体	総事業費 (億円)	供用後の 維持管理費 (億円)	評価	担当課 (担当課長名)
大型巡視船 (PL型) 1隻建造 海上保安庁	133	59	整備しようとする大型巡視船 (PL型) は、海上保安業務の遂行に必要な船体性能、監視探証能力、制圧能力、意思伝達能力、情報処理能力等を有していることから、我が国周辺海域における海洋権益の保全、治安の確保、海難救助、海上防災等の事案対応体制等の強化を図ることができる。	海上保安庁 装備技術部船舶課 (課長 矢頭 康彦)
小型巡視船 (PS型) 1隻建造 海上保安庁	27	14	整備しようとする小型巡視船 (PS型) は、海上保安業務の遂行に必要な運動性能、監視探証能力、規制能力、意思伝達能力等を有していることから、我が国周辺海域における海洋権益の保全及び治安の確保等の事案対応体制の強化を図ることができる。	海上保安庁 装備技術部船舶課 (課長 矢頭 康彦)

・ 供用後の維持管理費は耐用年数にかかる費用を現在価値化したものである。